

据付手順

- STEP1 安全上のご注意 STEP2 付属品の確認 STEP3 据付場所の選定
STEP4 室内ユニットの据付け STEP5 室外ユニットの据付け STEP6 必要なときに
STEP7 試運転と確認

STEP1 安全上のご注意 必ず守ってください

- ◆据付前、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据え付けてください。
◆据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書によってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容。

- 1. 配管を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はない。
2. エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内にR32以外の空気などを混入させない。
3. 指定冷媒(R32)以外は使用しない。
4. 調理室など油煙の多い所、または可燃性ガス、腐食性ガスや金属製のホコリのある場所には据え付けない。
5. 可燃性のも(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。
6. 室外ユニットは、ペラダの手すりなどに設置しない。

- 1. 据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
2. 据付工事は、付属品および指定の部品を使用し、この据付説明書に従って確実に行う。
3. 据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。
4. 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、専用回路を使用する。
5. 据付工事は、電源を切って行う。
6. 漏電遮断器を取り付ける。

注意 軽傷を負うおそれ、または物的損害が発生するおそれがある内容。

- 1. 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所へは据え付けない。
2. 室外ユニットの吸込口やアルミフィンに触れない。
3. 室外ユニットは、小動物のみかになるような場所には据え付けない。
4. 室外ユニットの天板を外すときは強くにぎらない。

STEP2 付属品の確認

Table listing indoor unit components: ①ドレンホース, ②ホースバンド, ③ドレンホース用断熱材, ④断熱テープ, ⑤断熱材テープ, ⑥断熱材テープ, ⑦断熱材テープ, ⑧断熱材テープ, ⑨断熱材テープ, ⑩断熱材テープ, ⑪断熱材テープ, ⑫断熱材テープ, ⑬断熱材テープ, ⑭断熱材テープ, ⑮断熱材テープ, ⑯断熱材テープ, ⑰断熱材テープ, ⑱断熱材テープ, ⑲断熱材テープ, ⑳断熱材テープ, ㉑断熱材テープ, ㉒断熱材テープ, ㉓断熱材テープ, ㉔断熱材テープ, ㉕断熱材テープ, ㉖断熱材テープ, ㉗断熱材テープ, ㉘断熱材テープ, ㉙断熱材テープ, ㉚断熱材テープ, ㉛断熱材テープ, ㉜断熱材テープ, ㉝断熱材テープ, ㉞断熱材テープ, ㉟断熱材テープ, ㊱断熱材テープ, ㊲断熱材テープ, ㊳断熱材テープ, ㊴断熱材テープ, ㊵断熱材テープ, ㊶断熱材テープ, ㊷断熱材テープ, ㊸断熱材テープ, ㊹断熱材テープ, ㊺断熱材テープ.

Table listing outdoor unit components: ①ドレンソケット, ②ドレンホース, ③ドレンホース用断熱材, ④断熱テープ, ⑤断熱材テープ, ⑥断熱材テープ, ⑦断熱材テープ, ⑧断熱材テープ, ⑨断熱材テープ, ⑩断熱材テープ, ⑪断熱材テープ, ⑫断熱材テープ, ⑬断熱材テープ, ⑭断熱材テープ, ⑮断熱材テープ, ⑯断熱材テープ, ⑰断熱材テープ, ⑱断熱材テープ, ⑲断熱材テープ, ⑳断熱材テープ, ㉑断熱材テープ, ㉒断熱材テープ, ㉓断熱材テープ, ㉔断熱材テープ, ㉕断熱材テープ, ㉖断熱材テープ, ㉗断熱材テープ, ㉘断熱材テープ, ㉙断熱材テープ, ㉚断熱材テープ, ㉛断熱材テープ, ㉜断熱材テープ, ㉝断熱材テープ, ㉞断熱材テープ, ㉟断熱材テープ, ㊱断熱材テープ, ㊲断熱材テープ, ㊳断熱材テープ, ㊴断熱材テープ, ㊵断熱材テープ, ㊶断熱材テープ, ㊷断熱材テープ, ㊸断熱材テープ, ㊹断熱材テープ, ㊺断熱材テープ.

Table with 3 columns: 品名 (Product Name), 仕様 (Specifications), 備考 (Notes). Lists items like 断熱材, 配管用型紙, 断熱材テープ, etc.

Table with 2 columns: 別売品 (Optional Parts), 商品名 (Product Name), 形名 (Model Name). Lists items like 化粧パネル, ABCUY1PGW.

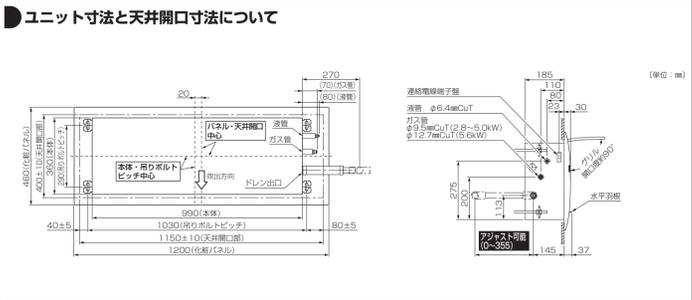
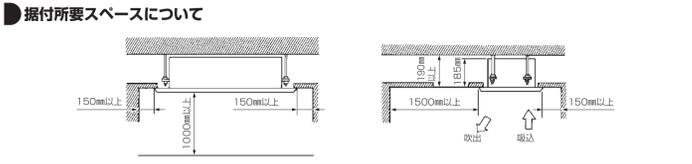
STEP3 据付場所の選定

室内ユニット (Indoor Unit) and 室外ユニット (Outdoor Unit) selection criteria. Includes diagrams showing clearance requirements and installation positions for both units.

STEP3 据付場所の選定 つづき

Detailed diagrams for indoor unit installation. Shows ceiling clearance, ducting, and electrical connections. Includes notes on insulation and safety.

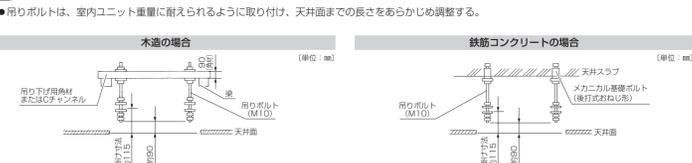
STEP4 室内ユニットの据付け



1 天井を開口する

- 据付場所選定後、配管引出し方向を決定し、据付用開口を開ける。
●天井開口を開けた後、天井の水平度を保ち、天井の振動を防ぐために、天井骨組などの補強が必要な場合があります。

2 吊りボルトを設置する



STEP4 室内ユニットの据付け つづき

3 室内ユニットを据え付ける

- 1. 室内ユニット吊り下げ前に図の準備を行う。
2. 吊り金具に吊りボルトを通す。
3. 室内ユニットの高さと位置を調節する。
4. 室内ユニットの水平度を確認し、下壁をダブルナットで固定する。
5. 上側のナットを締め付ける。

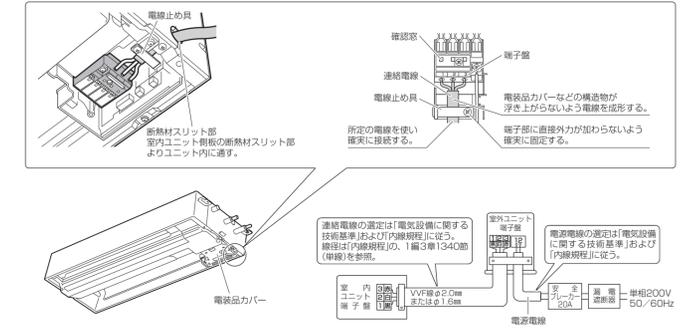
4 冷媒配管を接続する

- 1. 補助配管先端のフレアナットをスパネで2丁掛けし、外す。
2. 配管を接続する。
3. 必ず2丁スパネでトルクレンチを使用してください。
4. 曲げ半径を30~40mm以上にする。

STEP4 室内ユニットの据付け つづき

6 電線を接続する

- 1. 電線品カバを外す。
2. 電線品カバを内ユニット断熱材スリット部に通す。
3. 電線の被覆を15mmむく。
4. 電線の色を確認し、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあるまで確実に差し込む。



7 ドレン排水チェック

- 排水後ドレンがスムーズに流れるか確認する。
●ドレンパン内に水が溜る(現地調査品)を使って、約600ml(コップ3杯分)の水を徐々に入れる。

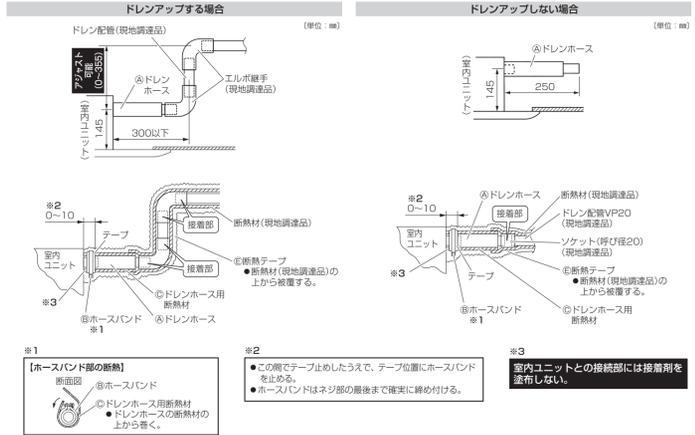
8 化粧パネルを取り付ける

- 化粧パネルを取り付けるときは、吸込口側のシート(ダンボール製)を必ず取り外す。
●化粧パネルの取付けは、化粧パネルに付属の据付説明書に従ってください。

STEP4 室内ユニットの据付け つづき

5 ドレン配管を接続する

- ドレン工事は確実に排水できるように配管する。
●ドレン配管は、市販の標準品パイプ(一般用VP20(外径26mm))を使用する。
●室内部のドレン配管は結露防止のため、内径10mm以上の断熱材で断熱する。



STEP5 室外ユニットの据付け

1 室外ユニットを設置する

Diagram showing the outdoor unit installation process. Includes notes on required clearance space and leveling.

2 冷媒配管を接続する

Diagram showing the refrigerant pipe connection process. Includes tables for flare nut and brazing nut specifications.

3 フレア加工と冷媒配管工事について

Diagram showing the flare processing and refrigerant pipe work. Includes safety warnings and technical specifications for flare nuts and brazing nuts.

## STEP5 室外ユニットの据付け つづき

### ③ エアパーズとガス漏れ確認を行う

地球環境保護の観点から、エアパーズは、真空ポンプをご使用ください。

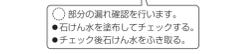
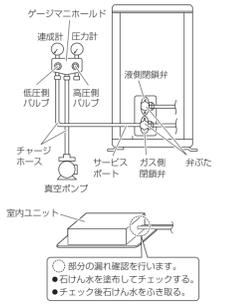
- R32用もしくはR410A用のツール(ゲージマニホールド、チャージホース、真空ポンプアダプターなど)を使用する。
- 閉鎖弁の弁操作作用に六角レンチ(対辺4mm)を用意する。
- 冷媒配管の接続部はすべてトルクレンチを使用し、所定のトルクで締め付ける。

1. 図を参考に各接続箇所を接続する。
2. ゲージマニホールドの低圧側バルブを全開、高圧側バルブを全開にする。
  - ◆高圧バルブは以降操作しません。
3. 真空引きを行い、連成計が $-0.1\text{MPa}$ ( $-76\text{cmHg}$ )になっていることを確認する。

連続配管長さ	真空ポンプ運転時間
15m以内	10分以上
15mを超える	15分以上

4. ゲージマニホールドの低圧側バルブを全開にし、真空ポンプを停止させる。
  - ◆1～2分間そのままの状態にし、連成計の針が戻らないことを確認します。
  - 連成計の針が戻る場合は、水分の混入や接続部の漏れが考えられるため、各接続部の高検、およびナットをいったんゆるめ、締め直した後、もう一度真空引きの操作を行う。

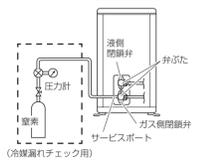
5. 液閉鎖弁、ガス閉鎖弁の弁ふたを外す。
6. 液閉鎖弁の弁棒を六角レンチを使って反時計方向に90°開き、5秒後に閉じ、ガス漏れ確認を行う。
7. ガス閉鎖弁のサービスポートよりチャージホースを外し、液閉鎖弁、ガス閉鎖弁を全開にする。
  - ◆弁棒は、あたりがある所で止め、それ以上回さないでください。
8. 液閉鎖弁、ガス閉鎖弁の弁ふたとサービスポートのキャップをトルクレンチを使って所定のトルクで締め付ける。



- 部分の漏れ確認を行います。
- 石けん水を塗布してチェックする。
- チェック後石けん水をふき取る。

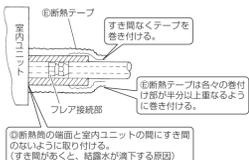
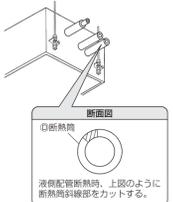
### ● 気密試験について

- ◆気密試験を行う場合は、下記の要領で作業してください。
- 室外ユニット閉鎖弁を全開のまま、窒素ガスを使用して冷媒漏れチェック(気密試験)を行い、圧力低下がないことを確認する。
- 気密試験は、高圧部の設計圧力まで昇圧させる。(4.17MPa)
- 気密試験後は真空ポンプを使用して窒素を回収する。



## 4 接続配管の仕上げをする

1. ①断熱筒を適当な長さに切断する。
2. 冷媒配管の接続部分を確実に②断熱筒にてシールする。
  - ◆断熱が不十分だと、結露滴下の原因になります。特に天井裏は、高温、多湿の場合が多いので、断熱は十分にしてください。
3. ③断熱筒取付け後、すき間なくテープを巻き付ける。さらに④断熱テープを巻き付ける。

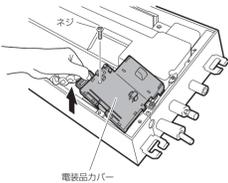


- ◆梅雨時の新築物件、新築の鉄筋コンクリート建築、通気のない天井裏など天井内(室内)相対湿度が80%を超えると思われる場合は、断熱材の外皮表面に結露することがありますので、設置環境に応じて冷媒配管の断熱材を強化してください。

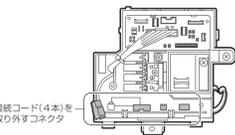
## STEP6 必要なときに

### ● HAシステム(遠隔制御機器)と接続する場合①

1. 電装品カバーを取り外す。(ネジ1本)

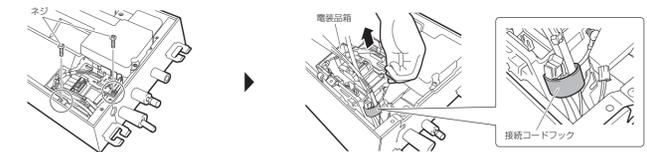


2. 接続コード(4本)を電装品箱の各コネクタから取り外す。



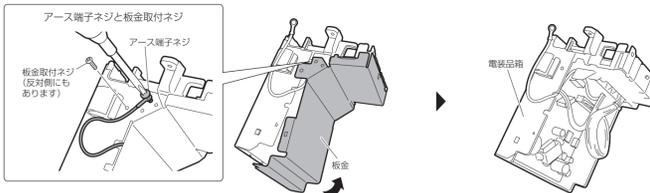
3. 電装品箱を室内ユニットから取り外す。(ネジ2本)

- ◆接続コードフックから接続コードを取り外します。



4. 電装品箱の板金を取り外す。(ツメ9ヵ所)

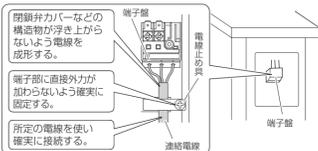
- ◆アース端子ネジと板金取付ネジを外します。



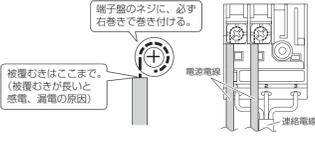
## STEP5 室外ユニットの据付け つづき

### ⑤ 電線を接続する

1. 室外ユニットの端子盤に連絡電線を取り付ける。
  - 取付けかたは、STEP4 電線を接続する に準じます。



2. 電源電線を取り付ける。



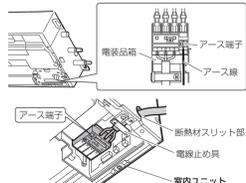
#### アース線の工事

1. 〇種接地工事を行う。
  - 接地抵抗は必ず100Ω以下にする。
  - ただし漏電遮断器(定格感度電流が100mA以下で動作時間が0.2秒以下の電流動作型のもの)を取り付ける場合は500Ω以下にする。

#### ● アース線の接続について

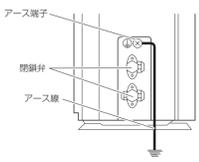
##### 室内アースの場合

- ①電装品カバーを取り外す。(ネジ1本)
- ②アース線を断熱材スリット部から通す。
- ③アース線を固定する。



##### 室外アースの場合

- ①閉鎖品カバーを取り外す。
- ②アース線をアース端子に接続する。(④マークの横のネジ)

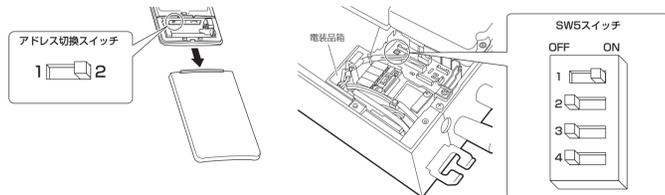


## STEP6 必要なときに つづき

### ● 同じ部屋に室内ユニットを2台設置する場合

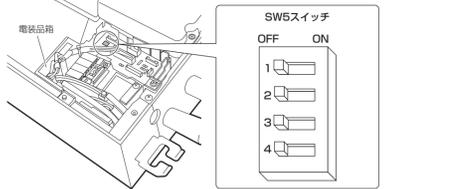
- ◆2台のうちどちらか一方のアドレスを設定変更してください。

1. リモコンの電池を抜いて、「取消」ボタンを押す。(リモコンの表示が消えたことを確認してください)
2. リモコンのアドレス切換スイッチを「2」にする。
3. 電装品カバーを取り外す。(ネジ1本)
4. プリント基板上的アドレススイッチ(SW5-1)を「ON」にする。
5. 電装品カバーを取り付ける。(ネジ1本)



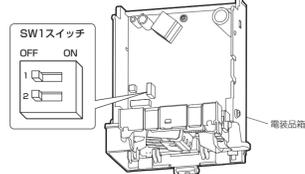
## ● スイッチ設定方法と使いかた

SW5スイッチ1~4	初期設定: OFF	SW5-1	SW5-2	SW5-3	SW5-4
スイッチ番号		アドレス	パネル	集中個別	高天井
設定機能		アドレス	使用しません。	使用しません。	高天井
内容説明		同じ部屋に室内ユニットを2台設置する場合、「ON」にする。	使用しません。	使用しません。	天井高さが2.5~2.7mの部屋で暖房時の風量をアップさせたい場合、「ON」にする。



#### SW1スイッチ1~2 初期設定: OFF

SW1スイッチ1~2	初期設定: OFF	SW1-1	SW1-2
スイッチ番号		SW1-1	SW1-2
設定機能		リモコン切換	他家運転
内容説明		使用しません。	使用しません。



## STEP7 試運転と確認 つづき

### 据付工事後に、必ず確認してください。

確認項目 チェック項目 □ 欄でチェック(☑)をしてください。

番号	チェック項目	不良の場合
1	<input type="checkbox"/> 室内外ユニットはしっかり据え付けられているか?	落下、振動、騒音
2	<input type="checkbox"/> ガス漏れ検査は行ったか?	冷えない、暖まらない
3	<input type="checkbox"/> 断熱は完全に行なったか?(ガス管、液管、室内側のドレンホース延長部)	水漏れ
4	<input type="checkbox"/> 室内ユニットのドレン排水のチェックをしたか?	水漏れ
5	<input type="checkbox"/> 室外ユニットのドレン工事が必要かお客様に確認したか?	室外ユニット底面穴からのドレン水の滴下
6	<input type="checkbox"/> アース線の接続は確実か?	感電の危険
7	<input type="checkbox"/> 「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電線は正しく接続したか?(電線の仕様、接続箇所)	運転不能、焼損
8	<input type="checkbox"/> 室内外ユニットの吸込口、吹出口が障害物でふさがっていないか?	冷えない、暖まらない
9	<input type="checkbox"/> 閉鎖弁は開いているか?	冷えない、暖まらない
10	<input type="checkbox"/> 化粧パネルからのリード線のコネクタは確実に接続されているか?	運転不能
11	<input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコンの送受信は確認したか?	運転不能
12	<input type="checkbox"/> アドレスの設定は確認したか?	運転不能
13	<input type="checkbox"/> 保証書に形名(機種名)及び製造番号(7桁)を記入してお客様に渡したか?	—

形名 製造番号 据付年月日 据付担当サイン欄

◆この据付説明書は、取扱説明書と一緒に必ず保管してください。(据付工事後、お客様にお渡しください)

## STEP6 必要なときに つづき

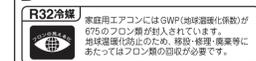
### ● エアコンの移設や修理、廃棄するとき ●ポンプダウン運転

#### 警告

- 冷凍サイクル内にR32以外の空気を混入させない。
- ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。(圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気を吸引し、冷凍サイクルが異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)

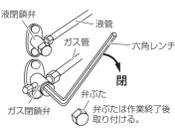
- ◆地球環境保護の観点から、移設時にはポンプダウンを行い閉鎖弁をしっかりと閉めてください。
- ◆フロン排出抑制法により、冷媒フロンの回収が必要です。廃却時にはフロン回収事業登録業者に依頼してください。

#### ● フロンについて



この表示は家庭用エアコンに窒素ガス(フロン類)が注入されていることを注意喚起するための表示です。

1. ポンプダウン運転を行う。
  - ①液閉鎖弁、ガス閉鎖弁の弁ふたを外す。
  - ②強制冷房運転を行う。
  - ③5~10分後、液閉鎖弁を六角レンチを使って閉じる。
  - ④2~3分後、ガス閉鎖弁を閉じる。
  - ◆強制冷房運転を停止します。



#### ● 強制冷房運転のししかた

- ◆室内ユニットの応急運転スイッチを5秒以上長押しする。
- ◆「ビピッ」と鳴り、運転を開始します。
- ◆強制冷房運転は約15分で終了し、自動的に停止します。強制的に運転を終了させたいときは室内ユニットの応急運転スイッチを押してください。



## STEP7 試運転と確認

### ● 試運転を行う

新築物件やリフォームなどの内装工事、床面のワックスかけ時には、エアコンの運転を避けてください。作業終了後にエアコンを運転する場合は、十分に換気を行ってください。ワックスなどの成分がエアコン内部に付着し、水漏れの原因になります。

#### ● 試運転前に化粧パネルを必ず取り付ける。

- ◆試運転は必ず冷房または暖房運転のどちらかで行ってください。
- 1. コンセントの電圧または電源電圧を測定し、仕様通りを確認する。
- 2. 冷房運転のときは設定温度を一番低い温度に、暖房運転のときは一番高い温度に合わせる。
- 3. 取扱説明書をもとに運転操作を行い、異常なく動作することを確認する。
  - ◆停止後約3分間は製品保護のため運転しません。
- 4. 試運転後は適切な温度(冷房の場合26~28℃、暖房の場合20~22℃)に戻す。

- ◆冬季に冷房運転をするなどの場合は、次の方法で試運転モードにして行ってください。

- ①「運転/停止」ボタンを押す。(運転開始します)
- ②温度▲ボタン、温度▼ボタン、「運転切換」ボタンを3つ同時に押す。
- ③温度▲ボタンを押し、「7」を選択する。
- ④「運転切換」ボタンを押し、試運転モードを開始する。
- ◆試運転モードは約30分で終了し、自動的に停止します。強制的に試運転を終了させたいときは、「運転/停止」ボタンを押してください。
- ◆試運転モードでは、一部の機能が使用できません。

- ◆エアコンを運転しないときでもいくらか電力を消費しています。据付け後、お客様がすぐに使用されない場合などは、ムダな電力消費を避けるため、ブレーカーを切ってください。また、お客様への引き渡し時には必ずブレーカーを入れてください。

## MEMO